

みんなのえ顔

新曾北小学校 四年 稲垣 茉璃乃

わたしは、地区清掃の時、はんに分かれて学校の周りのごみ拾いをしました。中にはやる気のなさそうな人がいたけれど、ほとんどの人はやる気まんまんでした。二十五分間ぐらいのごみ拾いです。

わたしたちのはんは、アーバン池田の前の道でした。表面を見ると、あまりごみはありません。でもよく見ると、はじの方にはタバコのすいがらや生ごみ、ガム、カンなどたくさんのごみがあります。

「なんで道にごみをすてちゃうの。」
と思いながら拾いました。しばらくすると歩いている人たちが、え顔で見ながら通りすぎていきます。その時、わたしはちよつといい気持ちになりました。どうしてかと言うと、がんばってそうじをすればえ顔が返ってくるからです。

ごみ拾いが終わって先生の話を書く時も、みんながごみ拾いでのお話を話していました。こんなごみを拾ったとか、どこにたくさん落ちていたか、などの話しです。

自分のごみぶくろの中を見ると、たくさんのごみが入って

いました。みんなのごみを一つに集めたら、大きいごみぶくろに入りきれないぐらいになりました。がんばってごみ拾いをしたのでうれしかったです。拾った時のことを思い出すと、たくさんの人たちのえ顔がうかんできます。

「やってよかったな。」

と最後に思いました。

ポイすては、いけないことです。わたしは、まちもきれいで心もきれいな戸田市にしたいです。